

機関誌つばさ

＼ 誰もが等しく権利擁護 ＼



<https://www.yokohama-tubasa.org>

つばさの法人後見は「私らしく」を手助けします

発行元：認定NPO法人 よこはま成年後見つばさ
〒240-0066 横浜市保土ヶ谷区釜台町5-5
ルネ上星川5-202
tel & fax 045-744-5600
mail: info@yokohama-tubasa.org

- 設立10周年記念講演会を開催・・・ p 1
- 第1部：成年後見講談（神田織音さん） p 2
- 織音さんとの台本作りのエピソード p 3
- 第2部：法人後見の紹介・・・ p 4
- 来場者アンケートの紹介・・・ p 5
- 記念講演会を終えて・・・ p 6

設立10周年記念講演会を開催

歩み続けて10年、もう一度初心に戻って

代表理事 渡邊 修一

設立10周年記念講演会は、100名を超える多くの方々の参加をいただき、盛会の内に無事終えることが出来ました。ありがとうございました。

第1部の神田織音さんの熱のこもった3題の講談は大好評で、多くの方の感動を呼びました。

また、その後の3法人の紹介、つばさの紹介と織音さんの講談の題材にもなりそうな事例、須田前

理事長の話などにより、つばさが築いてきた他団体との関係、歩み、日頃から大切に考えて行ってきたことなどがわかっていただけたと思います。

今回の講演会も、多くのメンバーが力を合わせて実現しました。これからもチーム力で頑張ります。これを一つの区切りとして、もう一度初心に戻って、活動に励みたいと思います。

2022年

6月11日(土)

13:30～16:00
(開場13:00)

横浜にぎわい座
地下 小ホール



↑開催日当日の「横浜にぎわい座」入口の光景

設立10周年記念講演会 「私らしく」を手助け

2022.6.11開催

第1部 (13:30~14:45)

神田織音さんによる
成年後見講談

第2部 (15:00~16:00)

法人後見活動の紹介

1. NPO法人 つなぐ
2. 特定非営利活動法人 後見つぼみ
3. 特定非営利活動法人 和の環
4. 特定非営利活動法人
よこはま成年後見つばさ



第1部

成年後見講談
神田織音



第1話

認知症の姉妹食い物に

～過剰工事：3年間で数千万円分～

第2話

ナオト君だって一人の人間なんだよ

～親亡き後を心配して～

第3話

生まれ変わっても、母の子に

～京都桂川・親子心中事件～

織音さんとの

台本作りの エピソード

第1話と第3話の台本作りは、新聞や雑誌で報道された記事などの資料をあちこちから集め、「ストーリー案」を作りました。第2話は、実際わが家で体験した、喜怒哀楽のさまざまなエピソードを書き出しました。

須田さんや西田さんたちとメールで、何回も何回もやり取りし、細部まで検討し、やっと「ストーリー案」が出来た後、織音さんに渡しました。

織音さんがドラマ仕立て、セリフ調にし、それらを読み込み、それからまた検討、検討・・・夜間の長男のケアでまとまって寝る時間がない中、寝ずにパソコンに向かっていました。

講談は、台本を釈台の上に置いて読み、1つのお話が終わる時に、シメの言葉「これにて読み終わりとさせていただきます。」と言います。今回の口演で、織音さんは、第3話を台本

【張り扇】(はりおうぎ)
講談に使う専用の扇です。



【釈台】(しゃくだい)
この台を張り扇で
パンパン叩きながら
語ります。

【高座】(こうざ)
奇席などで演芸する者のために設けた一段高い席です。

出典 <https://www.wel.ne.jp/doc/feature/koudan>

なしでそらんじたそうです。私は舞台裏にいたので、釈台の上に台本がないことを知らず、しっとりしたセリフの流れや間の取り方に「成熟した、堂々たる織音さんの代表作になった」と感慨深く聞きほれていました。

あとから台本なしだったと聞いて鳥肌がたちました。織音さん、あっぱれ！です。

さいとう さとこ
(理事 齋藤 聡子)

講談師

神田織音



神田織音さんが、開場前、ロビーにいる私たちのところへ挨拶に来てくださいました。洋服姿で「しゅっとしてはるなあ」（関西弁でスタイルがよい）という印象でした。

それが、高座の上の織音さんは、張りのある声ですごい迫力。リズムカルな張り扇の音にも圧倒され、ぐいぐいとお話に引き込まれていきました。

講談は「史実を見てきたように語る話芸」と言われるそう。成年後見講談を語り、真っ向から立ち向かう織音さんの姿勢は、「現実から目を背けてはいけない」と言われているようで、身が引き締まる思いでした。

「神田織音のホームページ」

<https://kanda-orine.amebaownd.com/>

「きく講談」

<https://stand.fm/channels/6018b25f85b142d0d8d2f864>



第3話の

台本作りの
エピソード



須田さんや西田さんらとの講談の台本作りの時に、特に第3話についての資料を懸命に集め、読み込みました。第3話の台本の結びは、京都地裁の温情判決のくだりとし、そのあと織音さんが自助共助公助を引き合いに出し、社会に課題を投げかける構成となりました。

第3話は、成年後見講談だけでなく、福祉講談の口演でも1番メインとなるお話です。全国で数百回（多分200回は超えている！）と観客の涙を誘っています。数年後の報道で、人生を悲観して投身自殺されていたことを知り、衝撃を受けました。織音さんも動揺されたと思います。

織音さんと「その後」を台本に加えるかどうか話し合ったことがあります。講演会当日の織音さんは次のように力強く、社会へ問いかけました。

「（話としては終わりですが）人ひとりの命が失われておりながら、何一つ解決できたわけではありません。では、私たちはどうすればいいのでしょうか。（中略）

個人と地域、そして国と社会全体で解決すべき問題として取り組んでこそ展望が見えてくるのではないのでしょうか。」

さいとうさとこ

（理事 齋藤 聡子）

法人後見活動の紹介 ～4法人の取組～

1 NPO法人 つなぐ（鶴見区）

NPO法人つなぐは、障がいがある方が地域の中で安心して暮らしていけるように、鶴見区障がい者権利擁護センターとして2019年4月1日に設立しました。

障がい者に特化した法人後見で、親亡き後の課題についてワンストップで相談が受けられる法人を目指します。

また、地域に根差した法人になるために「けんたろうカフェ」や、家族会等へ出張研修を通して身近な存在を目指します。



代表理事 西田 ちゆき



2 NPO法人 後見つぼみ（港北区）

NPO法人つぼみは、2020年10月つばさを母体に創設。つばさへの相談が、行政、地域の福祉機関、病院などから途切れることなく続き、新規の対応が困難となりました。そこで、地域の福祉課題解決のため、もっとライト（軽い 明るい 権利擁護）で小さなNPO法人を作り、法人後見ニーズと期待に応えるため、後見つぼみが誕生しました。誰もが尊厳を守られる権利擁護支援を目指します。



代表理事 中田 敏雄



3 NPO法人 和の環^{わ わ}（港北区）

NPO法人和の環は、2011年5月創立。横浜市を中心に、出前講座等で成年後見についての情報提供活動等から始めました。

高齢者、特におひとり様が安心して地域で暮らし続けるための情報提供を積極的に行っています。

「支えてほしい」「見守ってほしい」「助けてほしい」のサインを発信している人を見逃すことなく、相手に寄り添い、皆が心やすらかに生きていける社会の実現を目指します。



理事長 中川 美和子



4 認定NPO法人 よこはま成年後見つばさ（保土ケ谷区）



代表理事 渡邊 修一



2011年～



2016年～



2018年～

つばさの「誕生から今までの10年間の歩み」と、法人活動の紹介がありました。アパートの一室から始まった事務所の変遷の写真（左下）も紹介。

判断能力の不十分な方々の権利擁護のために、成年後見制度の利用相談、申立支援および法人受任を一体的に行う目的で2011年10月に法人を設立。「たとえ資力が乏しくとも、必要な時には容易に利用できる制度であってほしい、生活の質を大切にしたい成年後見を行う法人が身近にあるといいね」そんな熱い思いで集いました。

つばさは法人後見の良さを生かし、チームで困難な課題に取り組み、地域連携の活用により、ご本人の生活の質をより良いものにしていきます。成年後見制度の理解を深めるため、普及啓発活動に一層取り組んでいきます。

つばさの事例紹介

よこはま成年後見つばさ
有園 田鶴子



私たちは、法人後見制度についていろんなことを学びました。その中で、制度利用の入口である相談がとても大事であることに気づきました。相談窓口リストをもらい、その先どうするか困ってつばさに相談に来る方もいます。

この事例は、障がいのある3人の介護を1人で背負った同居家族が、困り果てつばさに相談に来られました。つばさが相談者に寄り添い、障がいのある家族の後見制度利用につながるなど信頼関係ができました。

現在も、この世帯への支援はチームで行っています。在宅生活を維持できる見通しが出来ました。これからも先の長い支援になりますが、地域の支援者との連携を大事にした後見活動を行っています。法人後見でないと難しい事例です。

つばさの10年の歩み

つばさ初代理事長
須田 幸隆



つばさ立ち上げの準備から陣頭指揮を執り、初代理事長を務めた須田さんから、神田織音さんとの出会い、法人後見への熱い思い等たくさんの貴重な話を伺いました。紙面の関係で、項目だけを載せます。

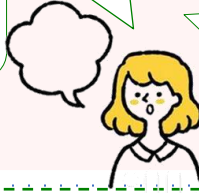
1. 出会い 神田織音さんとの出会い・本邦初公開成年後見講演
2. 秘話1 つばさ誕生の経緯・東日本大震災・法人後見への思い
3. 秘話2 成年後見制度の運用改善に貢献
4. 計画相談室ウィング 法人後見と計画相談
5. 後見つぼみの誕生 法人の適正規模・つばさ母体に誕生
6. 特別送達 8番目の審判・待ちに待った審判書
7. 申立支援 丁寧な申立支援・寄り添った申立支援
8. 最後に 権利擁護支援とは、意思決定支援と権利侵害の回復支援

自由記載方式で、たくさんの感想やご意見を寄せていただきました。ほんの一部ですが、ご紹介します。

10~20代	30~40代	50~60代	70代以上
2名	6名	27名	32名

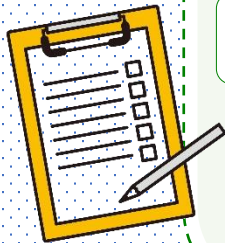
神田織音さんによる
成年後見講談

- ・熱演に感動した。引き込まれた。(9名)
- ・成年後見制度(事例・内容)が分かりやすく語られてよかった。(12名)
- ・成年後見制度の必要性、大切さについて、高齢、障がいそれぞれの立場で理解できてよかった。問題の所在が明らかになっていた。(5名)
- ・講談という形式なので、成年後見という硬い内容が、興味深く聞いた。
- ・今後の普及発展に大きく寄与するものと思った。
- ・涙しました。(11名)
- ・桂川事件について改めて考えさせられた。同じようなことが起きてはならないと強く感じた。国の制度を変えてほしい。(4名)
- ・多くの人たちに制度の理解をしてもらうため大変有益だと思う。より多くの人たちに聞いてもらいたい。(3名)



法人後見活動
の紹介

- ・それぞれの法人の特徴がよくわかった(10名)
- ・それぞれの法人の立ち上げ方等がわかってよかった。皆さん1人1人が信念をお持ちで、協力、連携する姿が素敵だった。
- ・ネットワークが広がるとよい。
- ・もっと広く地域に展開してください。
- ・今までの歴史や実績がわかりやすかった。(2名)
- ・詳しい活動状況に感動。貴重な体験談に感銘した。
- ・ネットワーク事例が大変良かった。(3名)
- ・これまであまり知らなかったが、このような支援を得られる場があることで安心感が得られる。
- ・改めて団体の説明を聞くことができ、つばさが持つネットワークの理解が深まった。(3名)

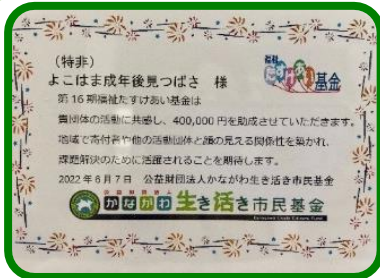


その他

- ・来年も実施してください。講談を聞くのもいいものだ。
- ・今後の発展を祈ります。(3名)
- ・誰を対象にしているのか不明。(各団体の会員を対象にしているのか。一般の方は少ない印象を受けた。)
- ・後見制度そのものを全く知らず、講談を聞きたくて来たので、わかりませんでした。
- ・100周年に向けてがんばってください。
- ・各団体の紹介、つばさの事例、前理事長のお話の構成が良かった。



105名のご来場
ありがとうございます。
ございました。

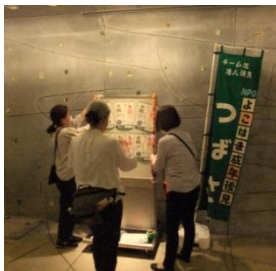


↑公益財団法人 かながわ生き生き市民基金から「第16期福祉たすけあい基金」助成金を頂き、開催できました。

10th anniversary
Photo album
2022.6.11



↑司会
川村 美智子 理事



↑にぎわい座スタッフの指導で、平台を運び、組み合わせて舞台を作りました。



記念講演会を終えて



より良い法人後見の実践と普及を目指して

副代表理事 篠崎 美代子

「設立10周年記念講演会」の企画にあたり、大きな会場確保が1つの課題でした。幸い、横浜にぎわい座の小ホールを借りることが出来、約半年間、実行委員会を重ねて準備をしました。

新型コロナウィルス感染状況は少し落ち着いていましたが、対策を取っての開催でした。そのような中でも、100名あまりの多くの方に参加いただきました。

第1部の神田織音さんの感動的な口演と、第2部の

法人後見の取組に対し、たくさんの方々から感想やメッセージをアンケートに寄せていただき、スタッフ一同感激しております。10年の実践と、つばさの総力で、実現できたと実感することが出来ました。

皆で思いを共有し、さらにより良い法人後見の実践と普及を目指して前進していきたいと思えます。

最後になりましたが、ご協力していただきました皆さまに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。